

1 自動販売払戻機について

(1) 導入の経緯

旧自動払戻機のリース期間満了に伴い、新たに新賭式としての三連勝式にも対応できる販売・払戻機を導入し、ファンの利便性の向上、販売業務の迅速化等を図ることとした。

(2) 70台とした理由

旧自動払戻機（51台）の更新にかかる費用及び新機種導入に伴う人件費削減額見合いとした。

(3) 窓口の開設状況

自動販売払戻機 → 全開催日に70台全てを稼働

有人販売窓口 → 開催日ごとの入場利用者見込みや実際の状況に応じて窓口数を調整

(4) 投票窓口による相違点（特徴）

自動販売払戻機 → 三連勝式に対応が可能
払戻し及び当たり馬券での購入が可能

有人販売窓口 → 初心者でも手軽に購入が可能
払戻し及び三連勝式には対応不可

2 開催曜日変更について（14年度：土・日・月→15年度：日・月・火）

○ 開催曜日変更の理由

他場との連携を一層強化するとともに、近隣の公営競技との開催日の競合を避けることによってファンの拡大を図ることとした。

（参考）

・ 広域場間場外発売（他場での発売）の推移（単位：千円、日）

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
売 得 額	538,862	1,339,067	1,775,347	1,783,147
発売日数	16	59	65	61

・ 1日平均総売得額（自場＋他場での発売）の推移（単位：千円）

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
土曜日平均	137,203	115,202	101,767	-
火曜日平均	151,553	148,423	119,363	130,871
全開催日平均	167,022	146,403	128,772	119,337

※ 平成15年度火曜日の平成14年度土曜日との比較：約3.6%増

・ 近隣公営競技の開催曜日（基本パターン）

富山競輪・福井競輪（金・土・日）

三国競艇（木・金・土・日）

3 平成15年度収支について

○ 単年度収支赤字の主な要因

開催日数やレース数を前年並みとすることで売得額の確保を図る一方、前年に引き続き各種経費の圧縮に努めた。

しかしながら、売得額の下落に歯止めがかからず、割合として、売得額の下落幅が経費の圧縮を大きく上回ったことが主な要因と考えている。

(開催日数、レース数で連動する開催関連経費：賞金等、従事員賃金、委託料等)

(参考)

・開催日数、レース数、入場人員の推移 (単位：日、レース、人)

項目	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度
開催日数	120	121	121	101
レース数	1,238	1,276	1,281	1,012
入場人員	568,412	502,242	464,244	375,099

・金沢競馬(県営・市営)開催収支状況 (単位：百万円)

項目	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算
売得額(自場発売)	19,503	16,375	13,806	10,268
売得額(他場発売)	539	1,339	1,775	1,783
その他収入	989	1,115	991	804
歳入計	21,031	18,829	16,572	12,855
払戻金	14,896	13,150	11,582	8,959
納交付金	394	339	286	211
その他支出(報償費・委託料等)	5,912	5,470	5,207	3,983
歳出計	21,202	18,959	17,075	13,153
単年度収支(県営)	- 103	- 58	- 402	- 204
〃(市営)	- 68	- 72	- 101	- 94